



こんにちはは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第497号

2021年3月22日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

運賃引き下げの公約を反故にした服部市長

5月の市長選挙まで、3ヵ月を切りました。この市長選挙で、各候補がどのような公約を掲げて有権者に訴えるのか、有権者は、各候補者の公約を判断基準に投票するのではないのでしょうか。

3月議会の代表質問で、服部市長が、選挙公約をどう認識しているのかを問いただしました。

服部市長は、「当選後に実施すると表明した事柄が該当する。また、政治家として掲げた政策の考え方や基本的な方向性などが含まれる」との答弁でした。

東京地下鉄（株）との合併頼み

有権者は、大手町まで310円との服部市長の公約を信じて投票したのであり、その期限は、8年先12年先までを見越して、市長に願いを託したのではありません。引き下げへの実現にどのような見通しをもっていたのか問いただしました。

服部市長は、「運賃値下げのためには東京地下鉄（株）との合併協議が必要不可欠との結論に至り、国・県とのパイプを最大限に生かすことで運賃の値下げが実現可能と公約にした。」との答弁でした。昨年の12月議会で市長は、「運賃引き下げのめどをつける」と答弁していますが、実現への見通しもないのに、「運賃引き下げは私しかできない」とうそぶいて有権者をだました責任は極めて重大と言わざるを得ません。



有権者に対しどのような責任を感じているか

大手町まで310円で行けると、夢と希望を膨らませながら、公約を信じて投票した有権者への思いを問いただしたところ、服部市長は、「国土交通省から職員を迎え、取締役会で運賃引き下げの検討を会社に要請。最大の課題となっている長期債務の解消に向け国土交通大臣に要望書提出」と答弁するにとどまり、公約裏切りへのまともな答弁はありませんでした。

310円の実現には、越えなければならないいくつかの壁が立ちはだかっていることは、十分承知していたはずであり、そのことを有権者に隠し続けた責任は免れません。

服部市政からの転換で暮らし・福祉最優先へ

市長はかつて事業を実施する際に、「財政問題を切り離して考えることはできない、東葉高速鉄道の運賃引き下げや京成線の高架化などで、人口流入を促進し、さらに、不動産の資産価値を上昇で、市民税や固定資産税、都市計画税などの市税収入を上げることで財政の健全化、市民サービスの向上につながる。」と述べていました。

この二つの事業とも破綻した今、人口流入も市税収入の向上も見込むことはできません。今こそ服部市政からの転換で、新型コロナ感染への抜本的対策をはじめ、市民の暮らし・福祉最優先の市政へ転換させましょう。